

平成 16 年度国土施策創発調査

半定住人口による多自然居住地域支援の可能性に関する調査報告書

「二地域居住」の意義と その戦略的支援策の構想

平成 17 年 3 月

国土交通省国土計画局

はじめに

第五次の全国総合開発計画「21世紀の国土のグランドデザイン」においては、4つの戦略の一つとして掲げた「多自然居住地域」については、「豊かな自然環境に恵まれた地域を、21世紀の新たな生活様式を可能とする国土のフロンティアとして位置付けるとともに、地域内外の連携を進め、都市的なサービスとゆとりある居住環境、豊かな自然を併せて享受できる誇りの持てる自立的な圏域」と定めている。

本調査は、中山間地域等を含む農山漁村等における、定住人口の減少のなかで、「団塊の世代」の定年退職者を中心とした都市住民による農山漁村等への中長期、定期的・反復的滞在といった『二地域居住』という新しい動きに着目した。こうした動きが農山漁村等に果たす役割や全国的に普及する可能性を明らかにし、併せて「二地域居住」に関する具体的な事例や支援方策の検討も行っている。また、本調査書は、(財)日本システム開発研究所に委託し実施した。

なお、国土交通省国土計画局においては平成16年11月に研究会を組織したが、議論の過程で、当初の「半定住」という名称を「二地域居住」へと変更している。

本報告書が国土政策に関わる関係者に広く活用されることを期待している。

平成17年3月
国土交通省国土計画局

目 次

要約編

「二地域居住」の意義とその戦略的支援策の構想（概要）	p. 1
----------------------------	------

本編

第1章 「二地域居住」の意義とその戦略的支援策の構想	p. 3
1. 「二地域居住」の意義と新しい地域社会・国民生活	p. 3
2. 戦略的支援策の構想	p. 8
3. 具体的な施策の方向	p. 9
4. 構想に沿った工程表（主要課題）と役割分担案	p. 12
5. 「二住生活社会」における地域社会・国民生活の姿	p. 12
「二地域居住」の意義とその戦略的支援策の構想 図表編	p. 16

第2章 「二地域居住」に対する都市住民アンケート調査結果と

「二地域居住人口」の現状推計及び将来イメージについて	p. 35
1. 「二地域居住」に関する定義（捉え方）	p. 35
2. 「二地域居住人口」の現状推計と「潜在二地域居住人口」の算出方法	p. 38
3. 「二地域居住人口」の現状推計と「潜在二地域居住人口」の算出	p. 39
4. 「二地域居住人口」の将来イメージ	p. 43
5. 都市住民アンケート調査結果の分析	p. 46

第3章 「二地域居住」に関する個別事例

参考資料

1. 経済効果等の分析 ～舞鶴市における二地域居住人口増加の経済効果～	p. 81
2. 「二住生活社会」における地域社会・国民生活の未来像	p. 90
3. 研究会における総務省提出資料	p. 97
4. シンポジウムの概要	p. 127
5. 委員名簿・研究会開催状況	p. 129

要 約 編

本 編

第 1 章

「二地域居住」の意義とその戦略的支援策の構想

第 2 章

「二地域居住」に対する都市住民アンケート調査結果と
「二地域居住人口」の現状推計及び将来イメージについて

第3章 「二地域居住」に関する個別事例

参 考 资 料